

会議記録

会議名称		第1回 杉並区立西荻地域区民センター等指定管理者候補者選定委員会
日 時		令和7年5月27日（火）午後1時30分～午後2時45分
場 所		西荻地域区民センター第3・4集会室
出席者	委員名	日本大学 経済学部 教授：金子 憲 西荻地域区民センター協議会会長、上荻窪地区町連会長：山田 康嗣 上井草地区町連会長：宿澤 三政 杉並区区民生活部長：寺井 茂樹 杉並区産業振興センター所長：齊藤 俊朗
	事務局職員	区民生活部地域施設担当課長：近藤 伸吾 区民生活部荻窪地域担当課長：伴 裕和 産業振興センター次長：細谷 裕史 区民生活部地域課地域施設計画調整担当係長：田村 茂実 区民生活部地域課西荻地域活動係長：中村 澄仁 産業振興センター管理係長：山口 久美子 区民生活部地域課地域施設係：和久井 美和
配布資料	次第	資料1 選定委員会名簿 資料2 杉並区プロポーザル選定委員会条例 資料3 選定委員会の運営方針（案） 資料4 選定委員会スケジュール（案） 資料5 指定管理者募集要項（案） 資料6 審査基準（案） 資料7 審査表（案）
会議次第	【議事】	1 開会 2 委員紹介・委員委嘱 3 会長の選出・会長職務代理の指名 4 議事 （1）スケジュールについて （2）指定管理者募集要項について （3）審査基準及び審査表について （4）その他 5 閉会
会議の結果及び		各委員へ委嘱状を伝達した後、委員互選により、金子委員が会長に選任された。また、会長に事故があった場合の職務代理者として、会長により山田委員が指名された。 その後、会長による議事進行のもと、事務局から、プロポーザル方式の事業者選定に係る運用の変更に基ついた運営方針（案）、選定委員会のスケジュール（案）、募集要項（案）及び審査基準（案）について説明した上で、各委員からの意見を聴取し、本日、募集要項及び審査基準を決定するよう説明を行った。

主 要 な 発 言	【主な質疑応答】 ・募集要項に示されている利用料金収入金額について行政使用分の金額は入っているか、入っていないとすれば応募団体はその分がわかるものか。 →行政使用分は金額に入っていないが、募集要項に掲載する資料から応募団体は概ね計算できると事務局から回答した。 ・審査基準（案）について、これまで行ってきた他の地域区民センターの選定と比べ、変わった内容はあるか。 →地域区民センターの設置目的に関する項目は基本的に同様であり、今回は併設の勤労福祉会館に関する項目、区としてより着目する項目の追加等があると事務局から回答した。 ・区内事業者の加点の項目について採点はどのようにするか。 →区内に本店があれば 10、なければ 0 と採点することで事務局から提案し、了承を得た。 【主な意見】 ・募集要項に地域区民センター協議会の意義に関しての記載を追加し、採点についても何らかに加味できるようにしたい。 ○募集要項及び審査基準の決定 募集要項（案）は、地域区民センター協議会の意義について記載を追加することとし、これに対する評価は関連の項目で加味して採点することとして決定した。 審査基準（案）について、提案のとおり決定した。 次回の開催について 第 2 回選定委員会 8 月 8 日 (金) 午後 3 時から 西荻地域区民センター
----------------------------------	---

会議記録

会議名称		第2回 杉並区立西荻地域区民センター等指定管理者候補者選定委員会
日 時		令和7年8月8日（金）午後3時00分～午後4時15分
場 所		西荻地域区民センター第3・4集会室
出席者	委員名	日本大学 経済学部 教授：金子 憲 西荻地域区民センター協議会会長、上荻窪地区町連会長：山田 康嗣 上井草地区町連会長：宿澤 三政 杉並区区民生活部長：寺井 茂樹 杉並区産業振興センター所長：齊藤 俊朗
	事務局職員	区民生活部地域施設担当課長：近藤 伸吾 区民生活部荻窪地域担当課長：伴 裕和 産業振興センター次長：細谷 裕史 区民生活部地域課地域施設計画調整担当係長：田村 茂実 区民生活部地域課西荻地域活動係長：中村 澄仁 産業振興センター管理係長：山口 久美子 区民生活部地域課地域施設係：和久井 美和
配布資料	次第	資料1 第一次審査集計表 資料2 第二次審査の審査方法について（案） 資料3 第二次審査表 資料4 第二次審査の進め方について（案） 〃 （裏面）事務局からの共通質問（案）
会議次第	【議事】	1 開会 2 議事 （1）第一次審査（書類審査）集計確認 （2）第一次審査（書類審査）通過団体の決定 （3）第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング審査）の審査内容について ① 審査方法 ② 審査表 ③ 進め方と質問 3 閉会
会議の結果及び主要		会長の議事進行のもと、事務局から、応募があった1団体の提出書類について、第一次審査（書類審査）として各委員が行った採点の集計を発表し、本日、その集計結果に基づき第一次審査通過団体を決定するよう説明を行った。次に、第二次審査の方法と進め方（案）について提案した。 ○第一次審査（書類審査）実施 事務局から、団体の財務状況については、公認会計士の診断を受け問題ないこと、労務管理状況については、必要な書類等が揃っており問題ないことを報告し、了承を得た。続けて各委員による質疑及び講評・意見交換を行った。

な 発 言	【主な質疑応答】 ・現指定管理期間において、何らかの問題等があったか。 →社内の別部門において個人情報漏洩等が複数回あったと事務局から回答した。 →杉並区監査において、区に提出する収支報告書の記載が十分でなく、不適切な指定管理料支出があった、是正は既にされたと委員から発言があった。 【主な意見】 ・応募団体は現指定管理者として状況に詳しく、実施してきた業務の蓄積があり、提案の記載内容も具体的であることから、安心して任せられる。 ・現在の期の実施状況よりもさらに良い運営となるよう期待したい。 ○第一次審査（書類審査）通過団体の決定 第一次審査の評価点数が配点数の6割以上であったため、団体を第一次審査通過団体として決定した。 ○第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング審査）の内容の決定 次に、第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング審査）の内容について意見交換を行った。 【主な意見】 ・当初、複数の応募があることを前提に作成した共通質問について、各質問項目を事務局から先に続けて質問し、委員からの質問はその後まとめて行うのではなく、事務局から質問した後、その質問ごとに委員から関係の質問をした方が質疑の流れが良くなる。 第二次審査の審査内容（案）について提案のとおり決定し、以上の意見のとおり進めることで了承された。 ※審査結果は、別紙のとおり。 次回の開催について 第3回選定委員会 9月19日(金)午後2時から 西荻地域区民センター
----------------------	---

会議記録

会議名称		第3回 杉並区立西荻地域区民センター等指定管理者候補者選定委員会
日 時		令和7年9月19日（金）午後2時00分～午後3時50分
場 所		西荻地域区民センター第3・4集会室
出席者	委員名	日本大学 経済学部 教授：金子 憲 西荻地域区民センター協議会会長、上荻窪地区町連会長：山田 康嗣 上井草地区町連会長：宿澤 三政 杉並区区民生活部長：寺井 茂樹 杉並区産業振興センター所長：齊藤 俊朗
	事務局職員	区民生活部地域施設担当課長：近藤 伸吾 区民生活部荻窪地域担当課長：伴 裕和 産業振興センター次長：細谷 裕史 区民生活部地域課地域施設計画調整担当係長：田村 茂実 区民生活部地域課西荻地域活動係長：中村 澄仁 産業振興センター管理係長：山口 久美子 区民生活部地域課地域施設係：和久井 美和
配布資料	次第	資料1 第一次審査集計表 資料2 第二次審査の審査方法等について 資料3 第二次審査表 資料4 第二次審査の進め方について（各団体配布資料） 〃 （裏面）共通質問
会議次第	【議事】	1 開会 2 議事 （1）第一次審査通過団体の確認 （2）第二次審査の審査方法等 （3）第二次審査 （4）第二次審査結果確認・指定管理者候補者の決定 3 閉会
会議の結果及び主要な発言		事務局から、前回の第2回選定委員会で決定した第一次審査の結果を踏まえて、第二次審査の進め方について説明を行った。 説明の後、第二次審査を開始した。 ○第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング審査） （「・」は委員の発言、「→」は応募団体の回答を示す） まず団体の出席者がプレゼンテーションを行い、その後ヒアリングを行った。 【ヒアリングの主な質疑】 ＜共通質問＞ 1 業務責任者はどのような経験、実績等があるか。また、組織体制はどのような点に留意して構築するか、スタッフが病気等により急な休みや欠員が生じた場合

言	の対応はどのようにするか。 →これまで 12 年間、他施設でメンテナンス業務、施設管理業務、建設生産マネジメントを経験した。休みや欠員は、セシオン杉並やコミュニティふらっと高円寺南から応援が可能。 ・現在の責任者がそのまま責任者候補となっているが、長期になり異動はあるか。 →会社の状況により異動はあり得る。その場合でも私と同等以上の者を配置する。 ・現指定管理初期の段階で、クレームに責任者としてどう対応したか。 →迅速な対応、報告を意識して行った。難しい内容は区と共有して対応を共に考えた。 ・責任者候補者は経験豊富と伺ったが、研修や他施設視察等の機会はあるか。 →管理職研修ほか多種多様な研修を受講し、他の施設責任者との会議によりクレーム対応などを改善した。 ・現場でハラスメントがあった場合の対応と対策は。未然防止は。 →パワハラなどに対しては当社相談窓口がケアするバックアップ体制あり。日頃のコミュニケーションを大事に、こまめなヒアリング等で未然防止する。 2 利用者の利便性向上のためのサービス等の実施について、実施する内容の特徴や、工夫した点は。また、施設情報、利用案内、イベント等の情報発信や周知に関するポイント、工夫した点はあるか。 →スマホ充電器の設置や、緑化推進で来館しやすい雰囲気づくりを行う。SNS、施設リーフレットによる情報発信・周知に加え、アウトリーチでの PR をする。 ・年間の利用数は。 →これまでの稼働率は約 65%。稼働率はホールがあることにより少し下がってしまう。 ・指定管理施設には西荻南区民集会所もあり、この利用促進の考えはあるか。 →SNS、施設リーフレット、町会掲示板への掲示で周知を図る。 3 併設の保育園、備蓄倉庫の委託施設との一体的管理について、どのように適切に行っていくか。 →メンテナンスを指定管理業務と一緒に行うことでコストメリットがある。保育園のメンテナンスは運営の障害にならないように行っている。 4 関係団体等との協力関係、地域との連携をどのように深めていくのか。また、利用者や住民の意見・要望を踏まえた運営を実現する仕組みは。 →関係団体の活動に我々が出向いて連携を深めていく。アンケート BOX を常設し意見を反映していく。 ・利用者の意見を聴く機会や方法はどのようなものがあるか。 →アンケート BOX を設置し、可能なものはすぐに対応する。
---	---

	5 勤労者の文化・教養及び福祉の向上に寄与する事業の実施する内容の特徴や、工夫した点はあるか。 →講座、ワークショップのほか、当社ならではのグループ会社所有のシェアオフィス見学等も行う。勤労者が参加しやすいように一時託児を実施する。 ・未利用時間を活用するコアワーキングスペースは着眼点のいい取組と思うが、ある程度定期的な空きがないと利用しにくいのではないかな。 →定期的な利用は難しい現状であり課題と考えているが、工夫して実施していきたい。 6 安全管理に関して、不測の事件・事故等の対応に関する現地の体制、本社等の支援体制はあるか。 →情報集約を業務責任者・副責任者に一本化する体制を組み対処する。設備面では本社に24時間緊急センターが稼働しており支援を図る。 7 自主事業について、施設の設置目的に沿った魅力的な内容として工夫した点はあるか。 →高齢者から若者まで多世代が楽しめる内容としており、アウトリーチ活動はふだん施設を利用していない方へのPRとなる。 8 収支計画について、経費の効率化を図った点、また、より効果的な運営に資する内容とした点はあるか。 →設備員は外部委託をせず当社社員が行うことでコスト減を見込める。最大の効率化は、光熱水費について、これまで機器の状況を常に監視してきた知見から、現在の期の当初より14%削減できた。 ・杉並区監査において、資金使途が不適切な点があるとの指摘は、収支計画の効率化と相反することだが見解は。 →指定管理のお金という認識が甘く、支出したものは全て計上してしまった。今回はそうしたことは一切含まれていない。 ・同じくタクシー使用について必要性が疑われ、公金を使用する認識が甘いという指摘について見解は。 →指摘を受けて本当に必要な場合以外は経費として計上しない運用とした。 ・同じく行先の氏名日時用途の不記載、購入備品の台帳への未登録など、基本的なことができていなかったという指摘については。 →ご指摘のとおり。我々の認識の甘さから起因するもので全て改善した。 ・以上、杉並区監査において、指定管理制度は税金を原資としており、これに関し会社の認識を改めることについて指摘されているので、心を改めて経費の効率化に関し注意していただきたい。 ・キャッシュレス決済の提案について、手数料については、効率化を図る中で捻出できるのか、区に負担してほしいのか。 →基本的には捻出できる認識だ。
--	---

＜自由質問＞

- ・防災機能と西荻地域区民センター協議会の活動をより高めることに協力いただけるか。

→協議会の取組は理解しており、常に情報交換させていただきながら進める。

防災については、区と協力してBCPマニュアルを策定し、区との情報交換を常に意識している。

- ・会社として情報漏洩の不祥事が過去にあった。先ほどの公金の使い方と共通するが、会社として情報漏洩の件についての所見は。

→情報漏洩については非常に重く受け止めている。コンプライアンスや情報管理の全社員研修、監査部等のチェックを強化している。

- ・二期目として選定された場合は、この件については認識を改め気を引き締めて行ってほしい。

○第二次審査結果の確認

各委員が採点を行った後、事務局から、第二次審査の集計についての説明を行った。その後、各委員による講評・意見交換を行った。

【主な意見】

- ・今回の提案は、実施事業について二期目として非常に工夫され、また勤労者向けの内容もしっかりしていることは期待できる。
- ・ある程度現場の状況はわかっているし、その面では安心感があった。事業提案で、アウトリーチ型の、この施設だけでなく外に出て地域の方と取り組んでいく点がいい。地域の方とつながり広く盛り立ててほしい。
- ・会社の個人情報漏洩等の不祥事の件に関して、杉並区ではしっかりやってほしい。
- ・第一次審査の書類がよくできていたことから、プレゼンテーションとヒアリングの印象で第一次審査を超えるものではなかったが、地域との良好な関係があることはわかったので、現在の実績を考えると問題はないと評価した。
- ・今回は、一団体のみの応募となり、漫然と継続できるという対応にならないよう注意を促した。総合評価が79.8%となり8割は超えておらず、初心に帰り、よりきちんと行っていくことを期待したい。

○指定管理者候補者の決定

各委員からの意見交換の後、第一次及び第二次審査の合計評価点数が配点数の6割以上であり応募団体を指定管理者候補者として選定した。

※審査結果は、別紙のとおり。

事務局から、選定結果の議会報告、区ホームページでの公表等、今後の流れについて説明した。